

- ワイナリーやスポーツ施設などの地域資源を活用し協議会が主体となった商品の造成により国内及びインバウンド向け着地型観光需要の増大を目指す。
- 協議会事務局のシダックス(株)等のノウハウを活用し、農泊のモデル的な取組や事業計画を策定し、中伊豆地区の持続的な農泊の実施に向け取組。

【地域の概要】

静岡県伊豆市

中伊豆地区



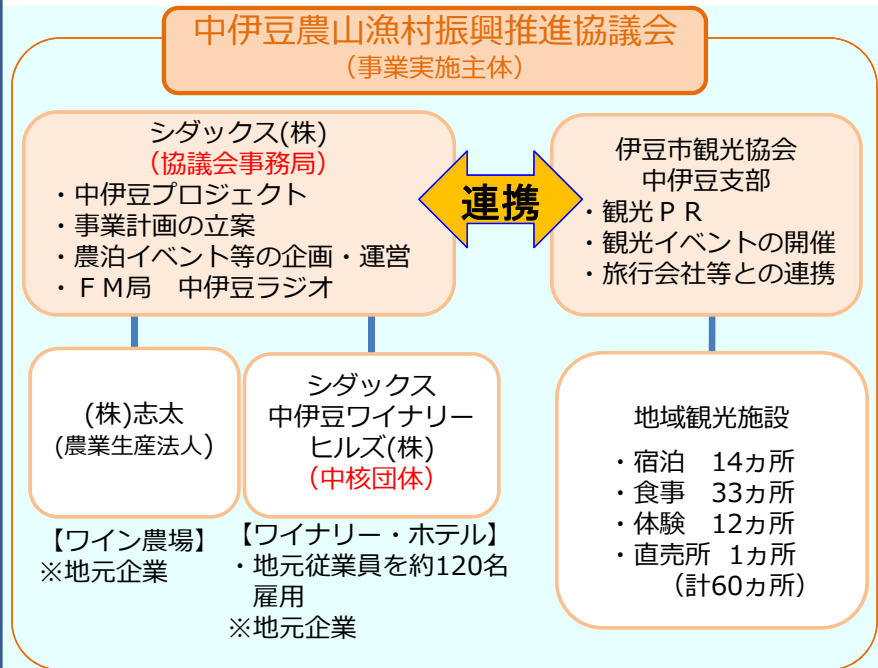
＜特徴＞

- 世界農業遺産に認定された水わさび伝統農法や萬城の滝、市内には修善寺という高名な温泉街など観光資源が存在。
- 観光施設の老朽化などにより、観光入込客数が減少している上、他の観光地への通過点となっているため、着地型観光の充実が必要。



中伊豆ワイナリーヒルズ

【実施体制】



＜地域連携＞

- 伊豆市観光協会中伊豆支部が観光協会会員（地域の60観光施設）を取りまとめ、シダックス(株)の窓口となり、地域の観光施設とシダックス(株)が連携。
- 地域の方々に農泊の取組を知ってもらい、仲間作りを進めるため、FMコミュニティラジオ（週1回1時間番組）や伊豆日日新聞、伊豆箱根鉄道の中吊り広告で農泊イベント等、協議会の取組のPRを実施。



FM 中伊豆ラジオ

【取組内容】

＜宿泊＞

- 中伊豆地区は伊豆市の他の3地区と比較し、観光業が弱い中、シダックス中伊豆ワイナリーヒルズ(株)が18年前に日活(株)の保養所を再生し、温泉、プールや野球場などのスポーツ施設も備えるホテルを開業。
- ホテルワイナリーヒルの宿泊能力は57室最大250人/日 宿泊実績41,789人(H29年度)。



ホテル ワイナリーヒル

＜ワイナリー＞

- ホテル開業と同時期にシダックス(株)がワイナリーも開業。ワイナリーを中心とした観光コンテンツ（ワイン、乗馬など）を開発。中伊豆地区の観光の中核的役割。



ワイン農場と乗馬体験

＜特徴的な取組＞

- 伊豆市産業振興促進計画(2017年)やシダックス(株)による中期経営計画(2017年)をもとに協議会が農泊の事業計画を策定し、協議会が農泊事業の評価指標の1つとして、シダックス中伊豆ワイナリーヒルズ(株)の売上や宿泊者数を設定。H29年度の実績はH28年度比で売上131%、宿泊者数115%と増加。
- 上記の目標を達成するため、シダックス(株)だけでなく、地域が一丸となった取組が必要であることから、地域の観光施設等と連携するプロジェクトを立ち上げ。取組を中伊豆地区から伊豆市全域へ拡大し、2020年度に伊豆半島全域へ拡大する構想。

